

議会運営委員会行政視察（概要）

1 視察日

令和5年1月17日（火）～18日（水）

2 視察項目（視察都市）

- ・議場会議システム、議会運営全般について（刈谷市）
- ・委員会インターネット中継、議会運営全般について（小牧市）

3 参加委員

委員長：長谷川 浩 副委員長：坂口 康博
委員：塚 理、西本 睦子、松本 泰典、
議長：大野 幾子 副議長：青木 順子

4 調査概要

刈谷市では、議会の見える化や市民ニーズに応えることを目的に、音声と映像の一体型会議システムを導入している。導入の効果として、システムの安定化、映像画質の鮮明化をはじめ、議場内の大型モニターや書画カメラの導入により、会議での議論がより伝わりやすくなるなどの利点が挙げられるとのことであった。また、表決システムを起立採決に当たる部分で採用しているとのことである。

小牧市では、委員会のライブ・録画映像配信を平成25年から開始しており、令和4年9月からはYouTubeによる配信に切り替えて行っている。YouTubeによるライブ配信のメリットについては、配信用リース機器の減少に伴う諸経費の削減や必要人員の削減が挙げられたほか、デメリットとしては、WiFiの不具合による映像配信の中断などが挙げられた。



5 委員長所感

刈谷市では、議会ICT化の推進を目的として、議場システムと書画カメラの連動、傍聴席へのモニター設置、電子表決による場内表示等のシステムを導入し、市民に開かれたわかりやすい議会運営に努めており、特に、議員の資料をモニターに映し出すシステムは、傍聴者に対し議員の質問内容をよりわかりやすく伝えることができると感じた。また、電子表決システムは、議員の賛否状況が傍聴者や議長にわかりやすく、数え間違いなどを減らす効果が期待でき、本市議会でも導入を検討していきたい。

小牧市で行っている委員会のライブ中継については、委員会室が1室であるためライブ中継についても1室のみで行われており、2室で行っている本市とは状況が異なる部分もあるが、初期費用を含めコスト面で優れているYouTubeの活用は一考するべきであり、開かれた議会に向けての取組を今後も進めていかななくてはならない。